

事務事業名	園芸ハウス等整備実証事業補助金	所属部	農林振興部	所属課	農政課	
総合計画体系的	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	農業G	課長名	高田浩二
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	小林弘典	電話番号	0854-40-1051
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	3703
	基本事業名	(107)農業基盤の整備	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 5 8 3	農業振興事業 園芸ハウス等整備実証事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度~)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
地域を守る土地利用型の水稲と経営収支の安定を図る園芸を複合的に行うため、集落営農組織を対象に、育苗後園芸ハウスとして使用し、収益性について実証を行う。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 育苗後の園芸作物の取組への推奨と推進を行い、4組織をモデルとして支援。 園芸作物はJAの推進作物であるアンジェレとなべちゃん葱を推進した。 併せてハウスの整備を行い、3ヶ年の収支の実証を行う。	30年度計画(30年度に計画する主な活動) H29年度整備したハウスので出荷数量及び収益性を確認し、今後普及拡大を図るか3ヶ年間収支の実証する。				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 園芸ハウス導入組織	組織			4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	雲南市内の集落営農組織	ア 生産組織	組織			4	4
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
複合経営による農地保全と経営収支の改善	ア なべちゃん葱	a			6.0	6.0	
	イ アンジェレ	a			6.0	6.0	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
ハウス整備に伴う補助金 6,415千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費	地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			6,415
		事業費計(A)	千円		6,415	
	人件費	正規職員従事人数	人			2
		延べ業務時間	時間			100
		人件費計(B)	千円		408	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		6,823	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成30年度より、米の生産調整が廃止され、生産者が独自に需給バランスを図りながら生産をする事が必要になった。農地保全を図りながら経営収支を改善する必要がある。	雲南市では特産となる園芸が無く、水稲経営以外の取組が少ない。今後積極的に園芸振興する。	初期投資が園芸作物を取組にはハードルとなっており、その経費負担が軽減され取組やすくなった。また、生産に伴う指導体制や販路拡大への支援を求められている。

事務事業名	園芸ハウス等整備実証事業補助金	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	実証に基づき、収益性を見定めることで、新たな組織への推進や個人への拡大が図れる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	新たに新規にとりくむ場合のコストが大きい。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		国や県の事業を活用する
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市だけでなく県、国の事業を有効活用することで市の持ち出しが減る		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	ハード事業が終わり実証になる事から労務が軽減される。		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市内全域について実施しており、公平公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		野菜の特産化を目指して実施されている事業であるため、今後も引き続き栽培面積の拡大を目指していく必要がある。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
園芸作物の推進を強く推進し、米のみの農業経営からの脱却と、年間を通じた農業所得の確保と雇用の場づくりを目指す。 なお、出荷時期の遅れや生産経験不足による病気等があり、農協の営農指導に頼る必要がある。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					